

平成22年度「みえの防災大賞」受賞！

毎年12月は、昭和19年12月7日に発生した、昭和東南海地震の記憶を風化させないよう設けられ「みえ地震対策の日」と定められています。その日を記念して三重県は「みえの防災文化づくりシンポジウム」を開催している。

あさみ会報



朝見まちづくり協議会 あさみ会報編集部
発行責任者・鈴木三千夫
松阪市大宮田町 209-4
朝見地区市民センター内 電話 0598-52.0007

2010.12.28 発行
第29号

「みえの防災文化づくりシンポジウム」(三重県)の席上表彰式 朝見まちづくり協議会が大賞に輝く！ 受賞を山中光茂市長に報告！

朝見地区住民・自治会・公民館・PTA・寿会等々、小学校・幼稚園、松阪地区消防本部・松阪市社会福祉協議会、さくらテラスなど各種団体協力、地域一体の防災訓練や防災講演会や視察研修会の開催、災害時における地元事業所の協力体制など、朝見あげての取り組みが大きく評価されての受賞となる。



表彰式で賞状を受ける田村会長



防災トークで朝見の取り組みを語る、田上部会長

平成22年12月4日午後1時30分より、名張市アドバンスコップADホールで開催される。また、平成22年12月7日山中光茂松阪市長に報告する。防災訓練を始め経過年や大賞に輝いた経過など報告。
山中市長からは「日頃の取り組みが求められ大変におめでとう、朝見地区の皆さんは防災訓練の重要性を自覚してみんなが参加しているなど他地域の模範となる活動を広げて行ってほしい等受賞をたたえる。



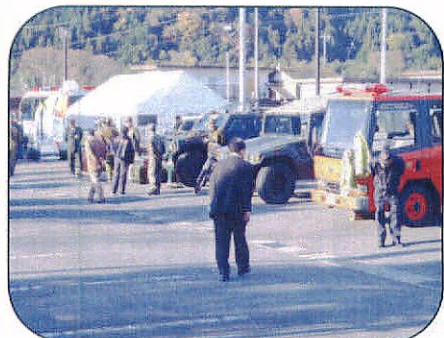
消防音楽隊の演奏



「みえ防災大賞表彰状



山中市長に報告の様子



会場外の防災車両の展示(消防・自衛隊)



基調講演 福和伸夫(名古屋大学院教授)



災害時救出協力事業所の紹介

《朝見地区内の各事業所と災害時の救出作業の協力協定を行っています》

(大宮田) 茂谷工務店・珍田木材有限会社・大徳建設株式会社・上川運送株式会社・JA 松阪農機センター(下七見) 東部建設株式会社 (朝田) 株式会社北川鉄工建設・葵クレーン(佐久米) 小林ファームライセンスセンター (立田) 宝石油株式会社・株式会社伊勢クレーン・中尾木材有限会社・株式会社ミック・鍛冶春建設有限会社・さくらテラス(古井) 有限会社松井工務店・構産業有限会社・エムエフマツモト有限会社・岡田園芸・株式会社サンカ機工 (新屋敷) 第一産業株式会社 (上七見) 鈴木為郎農産・筒橋本電機・奥村農産 (和屋) ススキ産機有限会社・溝口土建・井上組・有限会社安達建設

① 松阪牛まつり・第61回松阪肉共進会開催・朝見まちづくり協議会が出店。

*地元産の一品づくりの一環として、料理を創作している。

② 福祉部会 家庭で出来る介護技術を学ぶ。介助がコツをつかめば簡単!

③ 「ふるさと川俣・いも祭り」「大谷嘉兵衛翁祭りとともに」 川俣住民協議会を見学。

④ 「みえの防災大賞」受賞、「防災トーク」の様子が三重テレビで放映されます。

*テレビ放映は、平成23年1月13日(土)19:00~19:55 三重テレビ。

⑤ 松阪市開催の住民協議会講演会

新しい住民自治の在り方、住民協議会の可能性を講演。講師 帝塚山大学大学院 中川幾郎教授



朝見の出店前



にぎわいの様子

①松阪牛まつりに出店 松阪牛味ごはん丼 モウモウ汁(創作) 平成22年11月28日(日)松阪農業公園(伊勢寺町)ヘルファームで開催。昨年より、住民協議会の新たな試みとして出店を行っている。 出店会場にて「あさみや」として「味ごはん」「モウモウ汁」を販売し、松阪肉味ごはんは、昔から町内の「出合作業」や「集会」の時、食事として炊きだしていた。松阪肉と朝見で獲れた米を炊きこむ素朴な郷土料理である。朝見地区は、稲作に最適な粘土質に恵まれた田んぼで育つ「お米」は味が良く、自慢の農作物である。牛肉を炊き込みご飯に使う所は少ないが昔の懐かしい味である。世界一美味しい

- ②家庭でも役に立つ介護術を学ぶ
 - ◎座らせ方
 - ◎寝返りのうたせ方
 - ◎車イスへ移動の仕方 など簡単な方法。
- 平成22年11月10日 19:30、介護施設「さくらテラス」にて、7名が参加。今回は、家族が入院したり、体の不自由な方を介護する場合、大変な力が必要。介助する方が足腰を傷める場合があり、プロの方にコツを教えて頂きました。
- 1.力まかせの介助はやめましょう。
 - 2.寝返りのうたせ方。
 - 3.ベッドから車イスへの移動。
 - 4.簡単シーツの取り換え。 実技をしながら、参加者も体験をして学んだ。



寝返りのうたせ方(床づれを防ぎます)



ベッドから車いすへの移動

「松阪肉」と「朝見の米」とのマッチングは美味しい「味ごはん」です。今回も、寿会(老人会)の皆さんに「昔ながらの炊き込みごはん」を丹にして販売した。モウモウ汁は、牛まつりの寒い時期に、温かい汁をと「おやじの料理教室」で創作。松阪の特産を生かした料理を創作した中で作られた。松阪で取れる野菜の具沢山と牛肉を炊き込んで作った「そぼろ」で出来ている。牛肉を入れて作る汁は、脂っこいが「モウモウ汁」あっさりとした牛汁である。今回も大繁盛で「松阪肉味ごはん丼」「モウモウ汁」は販売開始早々に完売。地域の活性化を試みて、住民協議会が主導しながら活動を展開している。



③川俣住民協議会を訪問 平成22年11月23日(火)川俣小学校で開催。案内状が来ていたので、勉強の為見学をさせて頂いた。午後から参加したので、午前中の①大谷嘉兵衛翁お茶を世界一ド②開会式③郷土資料館、大谷嘉兵衛翁資料展(教室)、マジックショー、風食会(いも煮・焼きそば・おにぎり)を食することは出来なかったのが残念! みんなで歌おう・七笑合唱団とともに! 総勢60人の高齢者の合唱団、90歳を超える元氣一杯の歌声が響いた。市長と語ろう・ふるさとを! では、津市に在住する元小学校教諭のふるさとを語る言葉に拍手がわく。川俣には、先生に教わったと

七笑合唱団のコーラス 「みんなでつくろ、みえの防災文化」が行われ、コーテナイター川口 淳(准教授(三重大学大学院工学研究科)パネリストに平成22年度「みえの防災大賞」受賞団体3団体が代表者としてなり、田上 勉史(朝見まちづくり協議会防災部会長)が登壇した。防災への取り組みが今後経過や今後の平成課題などが語られた。(アンサンブール・アンサンブール)と幼年消防クラブのコーラ

山市長と語ろう! 「次世代のために今こそ耐震化を!」と題して、講師・福和伸夫 教授(名古屋大学大学院環境学研究科)が講演。過去の日本列島の大地震や災害のメカニズムを解説しながら、如何に地震に備えるか! 一番大事なのは、家屋や家具などの耐震化、転倒防止などをすべきである。自分が先ず被害者にならないよう自助の備えが大事であるとした。



④防災シンポ、表彰式(名張市で開催)の詳細 平成22年12月4日(土)13:00アドバンスコープADSホール(名張市青少年センター)にて表彰式が行われ、朝見まちづくり協議会が大賞を受賞。 昭和19年12月7日の昭和東南海地震の記憶を風化させないため「みえ地震対策の日」と定めている。 「みえの防災大賞」1団体と「みえの防災奨励賞」5団体の表彰が行われ野呂昭彦知事より各団体に表彰状と副賞が授与された。 基調講演 「新たな「住民自治組織」の意義とこれから。 ④「まちづくり」の三重資源を活性化させる。 ⑤「住民自治」とはなにか。 ⑥地域社会が意識すべき「まちづくり」の原理。 ⑦協働型地域社会の元氣・魅力アップ方策。 ⑧を事例を引きながら細かく説明。 ⑨「まちづくり」は学問的普遍性が大事で、理論に則った運営が大事である。 ⑩この五年間の朝見まちづくりの経過を思い出しながら聞いていたが、推進の妥当性を確認できた。(S)



⑤松阪市主催 住民協議会講演会 松阪市住民協議会講演会 講師・中川幾郎氏 平成22年12月19日(日)松阪市産業振興センター13:30~20:00名参加。 講師に帝塚山大学大学院教授 中川幾郎 氏を招き基調講演会が開催される。 「新たな住民自治組織の可能性」と題して講演。 ①今自治体が直果する新しい課題は「地域社会づくり」の地域社会の今までとこれから。 ②新たな「住民自治組織」の意義とこれから。 ③「まちづくり」の三重資源を活性化させる。 ④「住民自治」とはなにか。 ⑤「まちづくり」の原理。 ⑥協働型地域社会の元氣・魅力アップ方策。 ⑦を事例を引きながら細かく説明。 ⑧「まちづくり」は学問的普遍性が大事で、理論に則った運営が大事である。 ⑨この五年間の朝見まちづくりの経過を思い出しながら聞いていたが、推進の妥当性を確認できた。(S)